

減らせ!

可燃ごみ



可燃ごみの分別、きちんとしていますか？  
ごみの重量の約8割を占める「可燃ごみ」は、  
減らせば減らすほど、みんなの喜びにつながります。

月曜日

資源プラスチック

食品トレイ・カップ、ボトル・  
チューブ、発砲スチロール・  
スポンジ、ペットボトルの  
キャップ・ラベル、菓子等  
のビニール袋、レジ袋など。  
プラスチックマークのある  
もののほとんどが資源プラ  
スチックです。

火曜日・金曜日

★可燃ごみ

台所ごみ(生ごみ)、食用油、  
紙おむつ・生理用品、剪定枝・  
木片・落ち葉、使い捨てカ  
イロ・保冷剤・乾燥剤、鉛筆・  
クレヨン、アルミ箔など

水曜日

資源回収

アルミ缶、段ボール、紙パック、  
雑誌・雑がみ・新聞紙、衣類  
など

木曜日

第1木曜日

びん(無色・茶色)

第2木曜日

ガラス類

茶碗・コップ、無色・茶色  
以外のびん、化粧品びん、  
皿・植木鉢・花瓶・急須、  
ガラス、鏡など

第3木曜日

金属類

スチール缶、やかん・鍋、  
電気コード、小型家電、傘  
のほねなど

第4木曜日

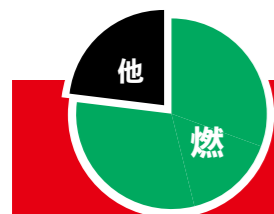
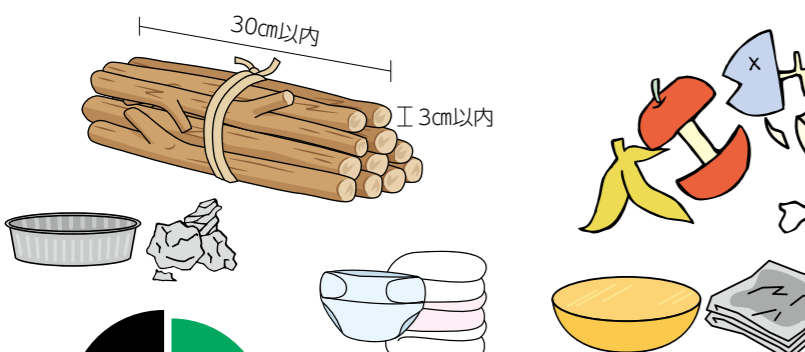
有害ごみ

蛍光灯、電池、ライター、  
スプレー缶など

裁断布

シート・布製マット、カーテ  
ン、汚れのひどい衣服など

曜日ごとのごみの分別 おさらい



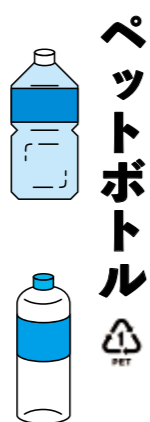
家庭ごみの約8割を占める ※2 (重量換算)

※2 ときがわ町建設環境課令和3年度年報集計



廃棄プラスチック

プラ製おもちゃ、靴・上履き、合成皮  
革のカバン、雨合羽、長靴、ブルーシー  
ト、マジック・ボールペンなど。プラ  
と金属の混合物や塩ビを含むプラ類



ペットボトル

第1・第3水曜日



出すとお金になる嬉しいごみ

ごみは、人が生きていくうえで必ず発生するものです。ときがわ町では、ごみを捨てるときに分別が必要であることは、町民の皆さまにとっては当たり前のことですよ。ほとんどの方が、きちんと分別して出していたいただいていると思います。

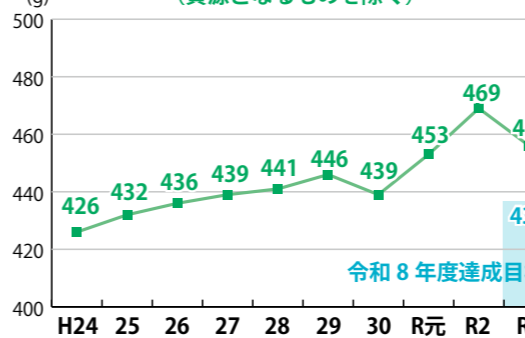
その中でも、火曜日・金曜日に収集されるのが「可燃ごみ」。生ごみや枝・木片・落ち葉など(次ページ)が対象です。しかし、この日は「燃えるものだったら何を捨ててもいい」日ではありません。まさか、「分別がめんどくさいから可燃ごみに入れる」ようなことはしていいですよ…?

近年、一人当たりのごみの排出量が増え続けており、改めて考えなければならぬ段階に入っているのです。

一人あたりが増え続ける

ときがわ町の住民一人が一日に出すごみの量をご存知ですか？平成24年度は426gでしたが、令和3年度は456g。全体の排出

グラフ1 ときがわ町民一人一日あたりの排出量 ※1 (資源となるものを除く)



量自体は減っているのですが、人口減少に伴って減っているもので、一人当たりの排出量に換算すると、年々増え続けているのです。

グラフ1

可燃ごみが増える…

ごみは、処理をするためにお金がかかります。それは重さをもとに計算しているので、ごみが重くなればなるほど、お金(負担金)がかかるようになります。負担金は処理費が主なもので、処理費は単純にいうと「重さ×単価」。

※1 広報ときがわ令和4年7月号参照。

★一辺が30cmを超えるものは集積所に出せず、粗大ごみとなります。その他、収集できないものもありますので、詳細はごみカレンダーをご覧ください。